

資料編

野洲市の将来人口推計	1
野洲市における主な公共施設の耐用年数一覧	2
野洲市における主な公共施設状況	3
野洲駅利用者動向	4
野洲駅周辺の主な道路状況	5
機能配置イメージ	6

野洲市の将来人口推計（社会増減有）

【男女計】

年齢／人	実績値		推計人口				
	17年	22年	27年	32年	37年	42年	47年
総数	49,753	50,693	51,311	51,546	51,490	51,160	50,502
0～4	2,583	2,584	2,128	1,995	1,917	1,863	1,796
5～9	2,503	2,592	2,636	2,171	2,036	1,956	1,901
10～14	2,436	2,527	2,609	2,653	2,186	2,049	1,969
15～19	2,781	2,479	2,534	2,618	2,662	2,193	2,056
20～24	3,115	2,887	2,508	2,564	2,652	2,696	2,220
25～29	3,804	3,199	3,181	2,754	2,817	2,916	2,963
30～34	4,240	3,667	3,360	3,338	2,892	2,959	3,062
35～39	3,396	4,251	3,707	3,396	3,368	2,923	2,990
40～44	2,994	3,393	4,321	3,769	3,454	3,430	2,974
45～49	2,767	2,991	3,400	4,330	3,778	3,462	3,438
50～54	3,329	2,725	2,967	3,374	4,299	3,752	3,439
55～59	4,125	3,297	2,720	2,963	3,372	4,299	3,753
60～64	3,336	4,041	3,242	2,679	2,919	3,326	4,242
65～69	2,526	3,203	3,883	3,122	2,586	2,819	3,216
70～74	2,016	2,405	2,994	3,655	2,949	2,454	2,677
75～79	1,745	1,783	2,178	2,733	3,368	2,732	2,288
80～84	1,107	1,441	1,447	1,794	2,277	2,847	2,328
85～89	599	794	972	995	1,260	1,629	2,078
90～94	272	332	390	483	501	648	852
95～99	71	90	116	135	166	170	220
100～	8	12	19	25	30	37	39
不詳	0						

※国立社会保障・人口問題研究所「『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）」における滋賀県の仮定値を参考に、住民基本台帳・外国人登録における年齢別人口を用いてコーホート要因法による実態に即した推計を実施。

※コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの時間変化を自然増減（出生・死亡）と社会増減（転入・転出）の要因に分け、そのもとで人口の変化を推計する方法。

※平成22年国勢調査結果を用いた国立社会保障・人口問題研究所の下記人口推計（平成25年3月推計）とは異なります。
 （平成22年：49,955人、平成27年：49,958人、平成32年：49,582人、平成37年：48,805人、平成42年：47,714人、平成47年：46,389人）

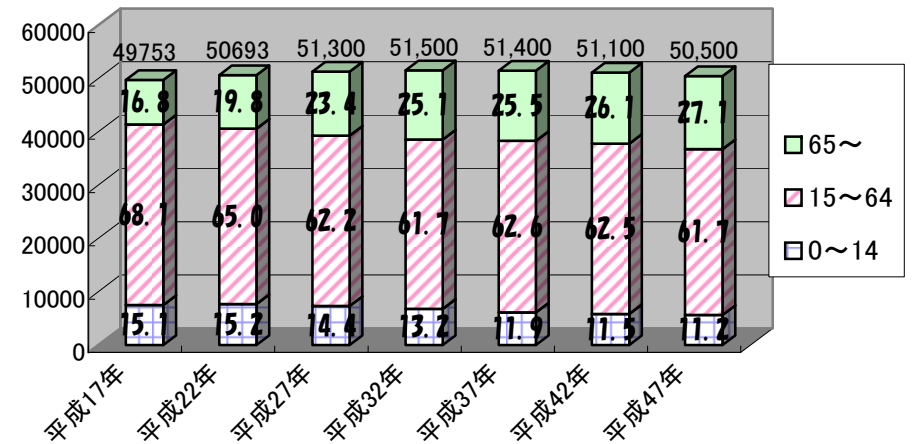
【男女計】

年齢／人	実績値		推計人口				
	17年	22年	27年	32年	37年	42年	47年
総数	49,753	50,693	51,311	51,546	51,490	51,160	50,502
0～4	7,522	7,703	7,373	6,820	6,139	5,868	5,666
15～64	33,887	32,930	31,939	31,785	32,213	31,955	31,137
65～	8,344	10,060	11,998	12,941	13,137	13,337	13,699
75～	3,802	4,452	5,122	6,164	7,602	8,063	7,805

【男女計】

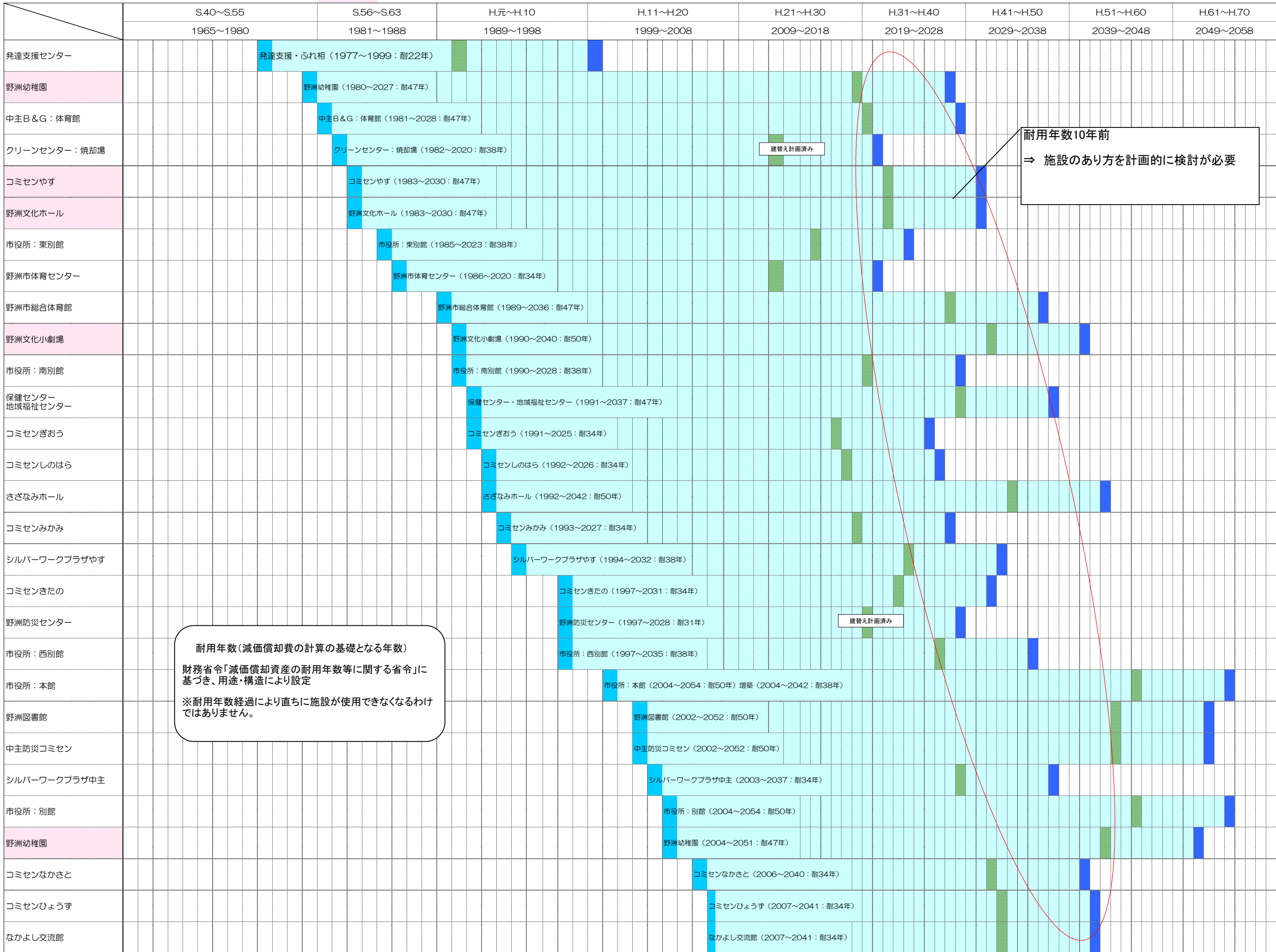
年齢／%	実績値		推計人口				
	17年	22年	27年	32年	37年	42年	47年
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	15.1%	15.2%	14.4%	13.2%	11.9%	11.5%	11.2%
15～64歳	68.1%	65.0%	62.2%	61.7%	62.6%	62.5%	61.7%
65歳以上	16.8%	19.8%	23.4%	25.1%	25.5%	26.1%	27.1%
75～	7.6%	8.8%	10.0%	12.0%	14.8%	15.8%	15.5%

野洲市における人口推移（社会増減有）



野洲市における主な公共施設の耐用年数一覧

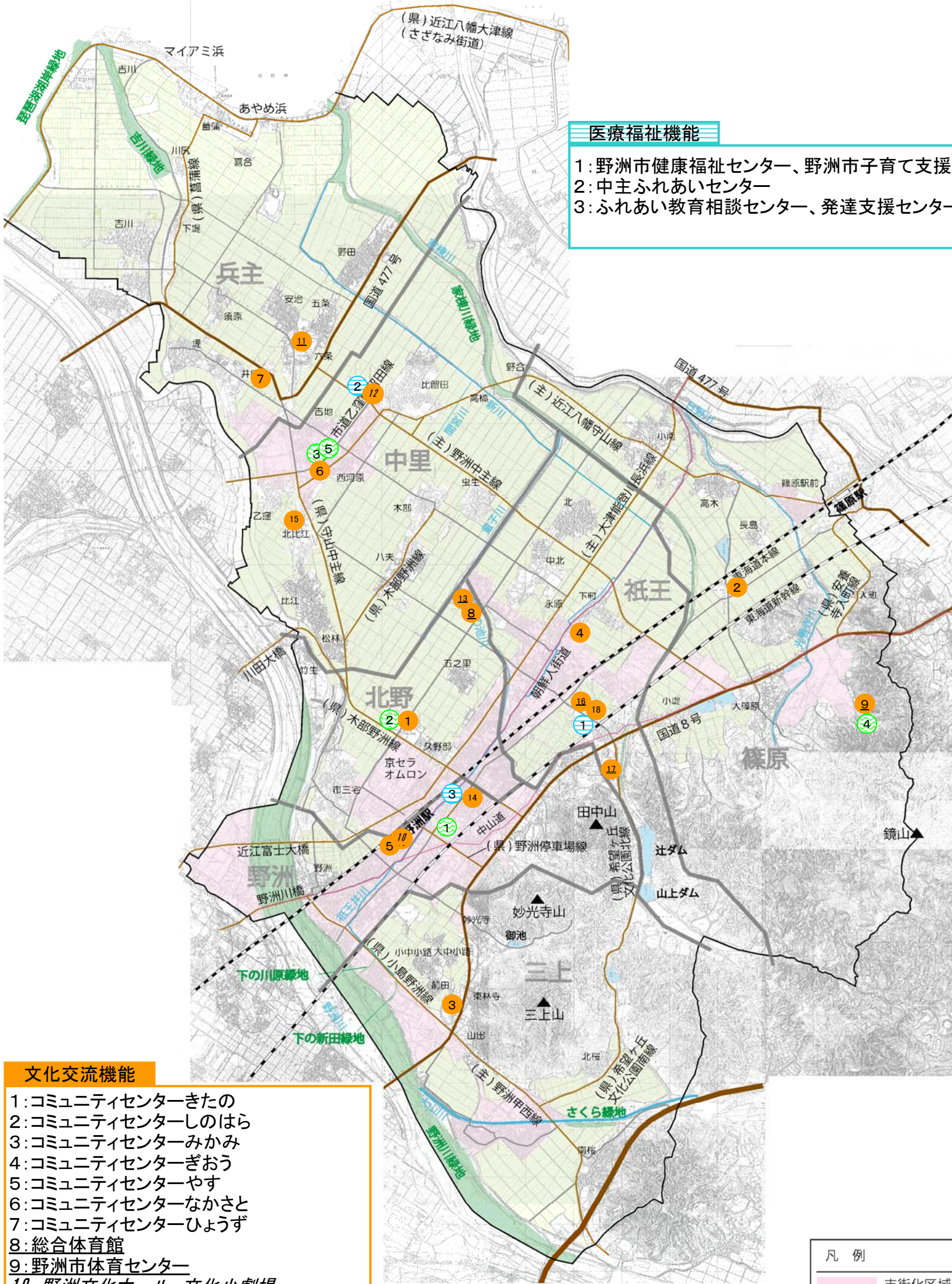
対象区域内



耐用年数10年前
⇒ 施設のあり方を計画的に検討が必要

耐用年数(減価償却費の計算の基礎となる年数)
財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に基づき、用途・構造により設定
※耐用年数経過により直ちに施設が使用できなくなるわけではありません。

野洲市における主な公共施設状況



医療福祉機能

1: 野洲市健康福祉センター、野洲市子育て支援センター
 2: 中主ふれあいセンター
 3: ふれあい教育相談センター、発達支援センター

文化交流機能

1: コミュニティセンターきたの
 2: コミュニティセンターしのはら
 3: コミュニティセンターみかみ
 4: コミュニティセンターぎおう
 5: コミュニティセンターやす
 6: コミュニティセンターなかさと
 7: コミュニティセンターひょうず
 8: 総合体育館
 9: 野洲市体育センター
 10: 野洲文化ホール、文化小劇場
 11: 中主B&G海洋センター
 12: 豊積の里総合センター
 13: なかよし交流館
 14: 野洲地域総合センター(人権センター)
 15: 市民交流センター・中主児童館
 16: 市民活動支援センター
 17: 歴史民俗博物館
 18: 野洲図書館

●●: スポーツ施設 ▲▲: ホール
 ■■: 特徴的な施設

行政機能

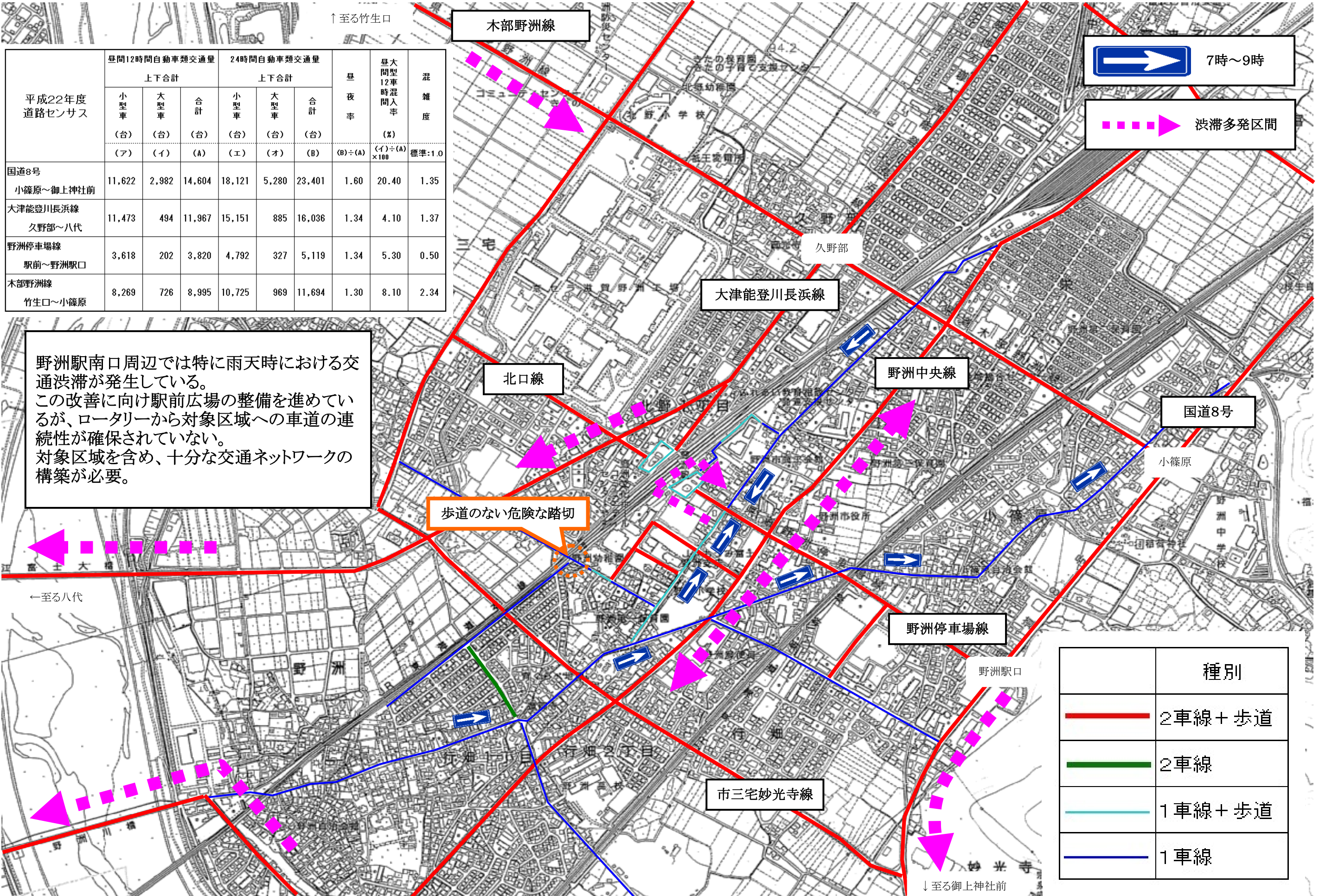
1: 野洲市役所
 2: 野洲防災センター
 3: 中主防災コミュニティセンター
 4: 野洲クリーンセンター
 5: 野洲市北部合同庁舎

凡例

市街化区域
都市計画緑地
農用地区域
国道
県道
主な市道
旧街道
JR 在来線
JR 新幹線

区域は概ねの範囲を示しています。

野洲駅周辺の主な道路状況



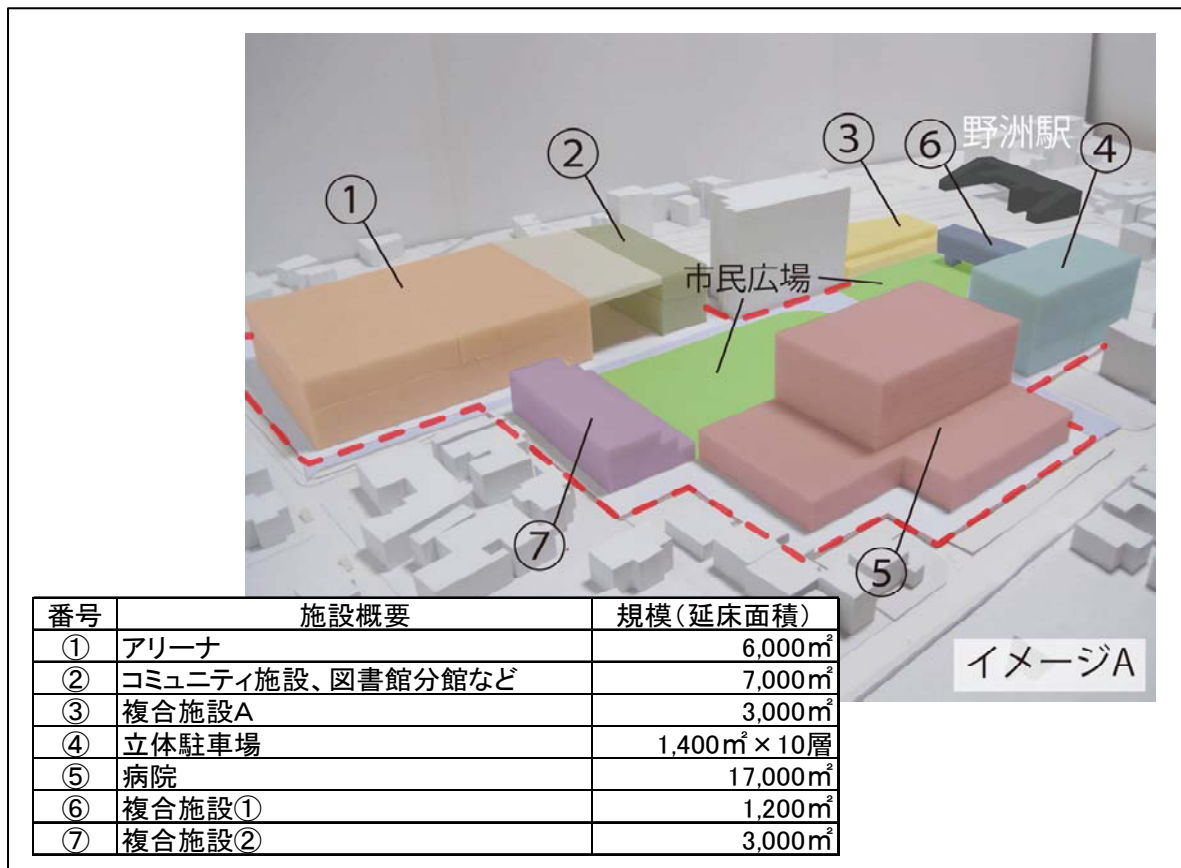
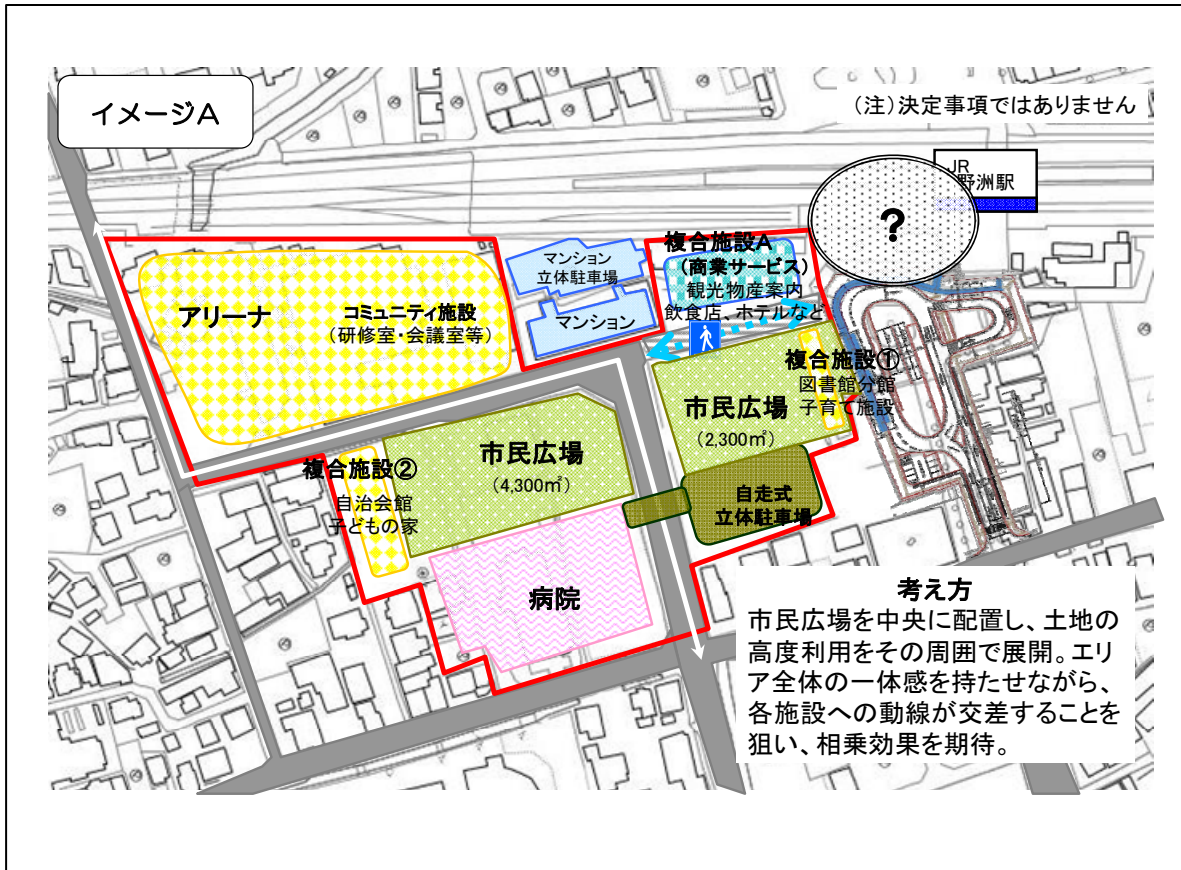
平成22年度 道路センサス	昼間12時間自動車類交通量			24時間自動車類交通量			昼 夜 率 (B)÷(A)	昼大 間型 12車 時混 入率 (イ)÷(A) ×100	混 雑 度 標準:1.0
	上下合計			上下合計					
	小型 車 (台) (ア)	大型 車 (台) (イ)	合計 (台) (A)	小型 車 (台) (エ)	大型 車 (台) (オ)	合計 (台) (B)			
国道8号 小篠原～御上神社前	11,622	2,982	14,604	18,121	5,280	23,401	1.60	20.40	1.35
大津能登川長浜線 久野部～八代	11,473	494	11,967	15,151	885	16,036	1.34	4.10	1.37
野洲停車場線 駅前～野洲駅口	3,618	202	3,820	4,792	327	5,119	1.34	5.30	0.50
木部野洲線 竹生口～小篠原	8,269	726	8,995	10,725	969	11,694	1.30	8.10	2.34

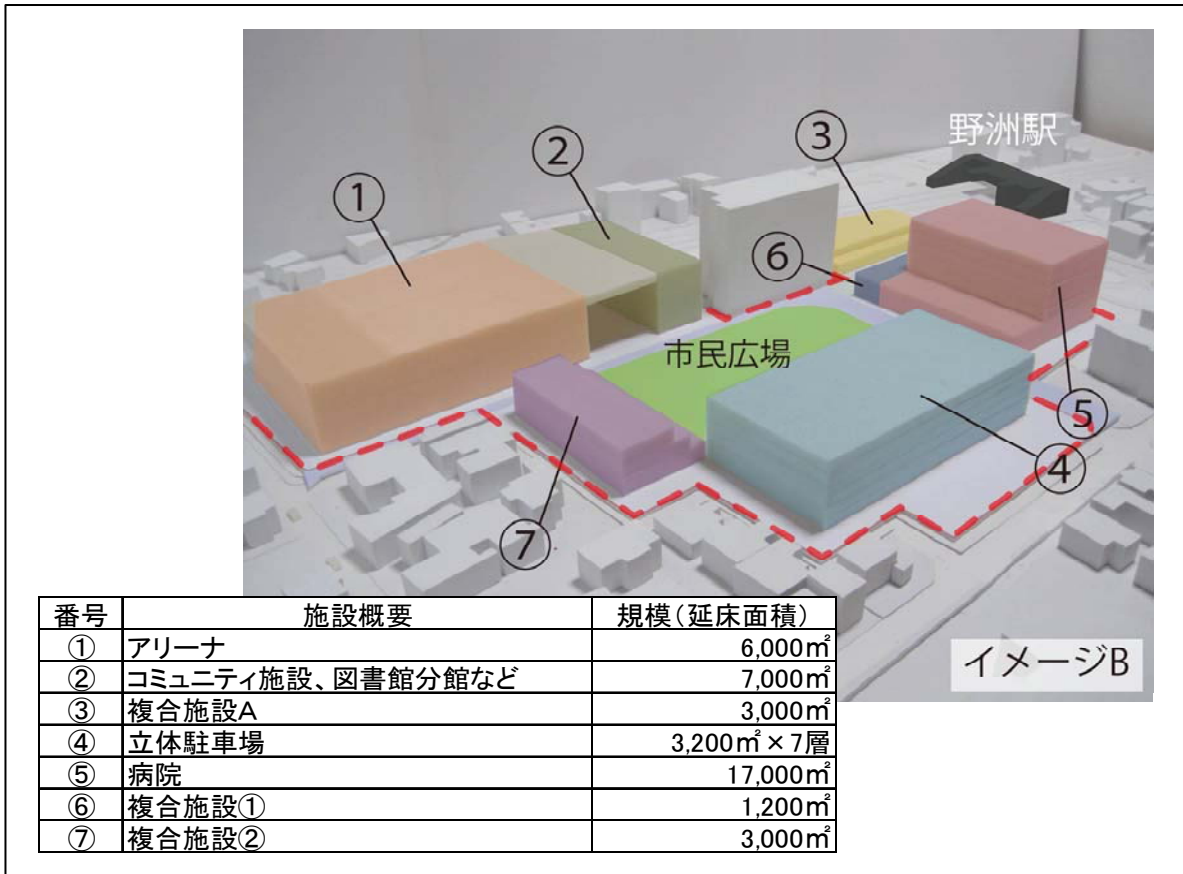
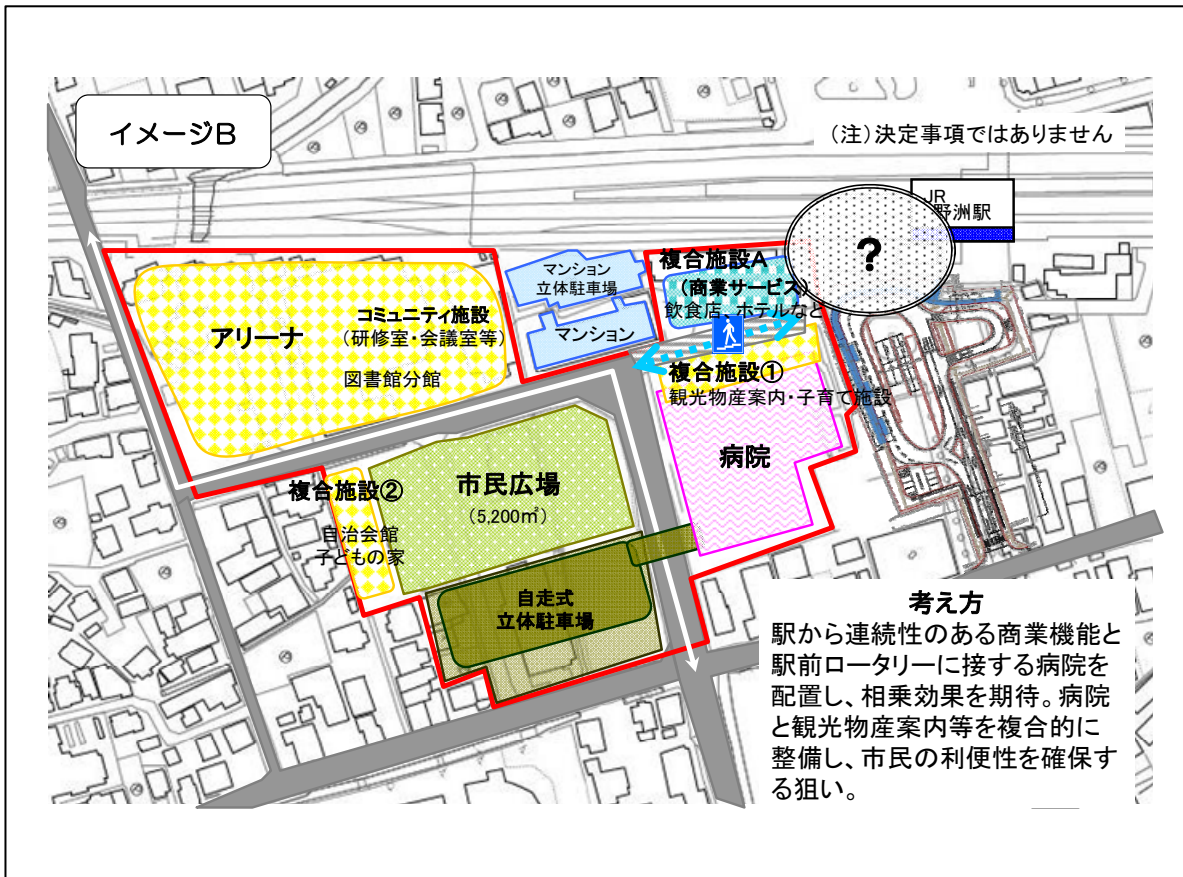
野洲駅南口周辺では特に雨天時における交通渋滞が発生している。
この改善に向け駅前広場の整備を進めているが、ロータリーから対象区域への車道の連続性が確保されていない。
対象区域を含め、十分な交通ネットワークの構築が必要。

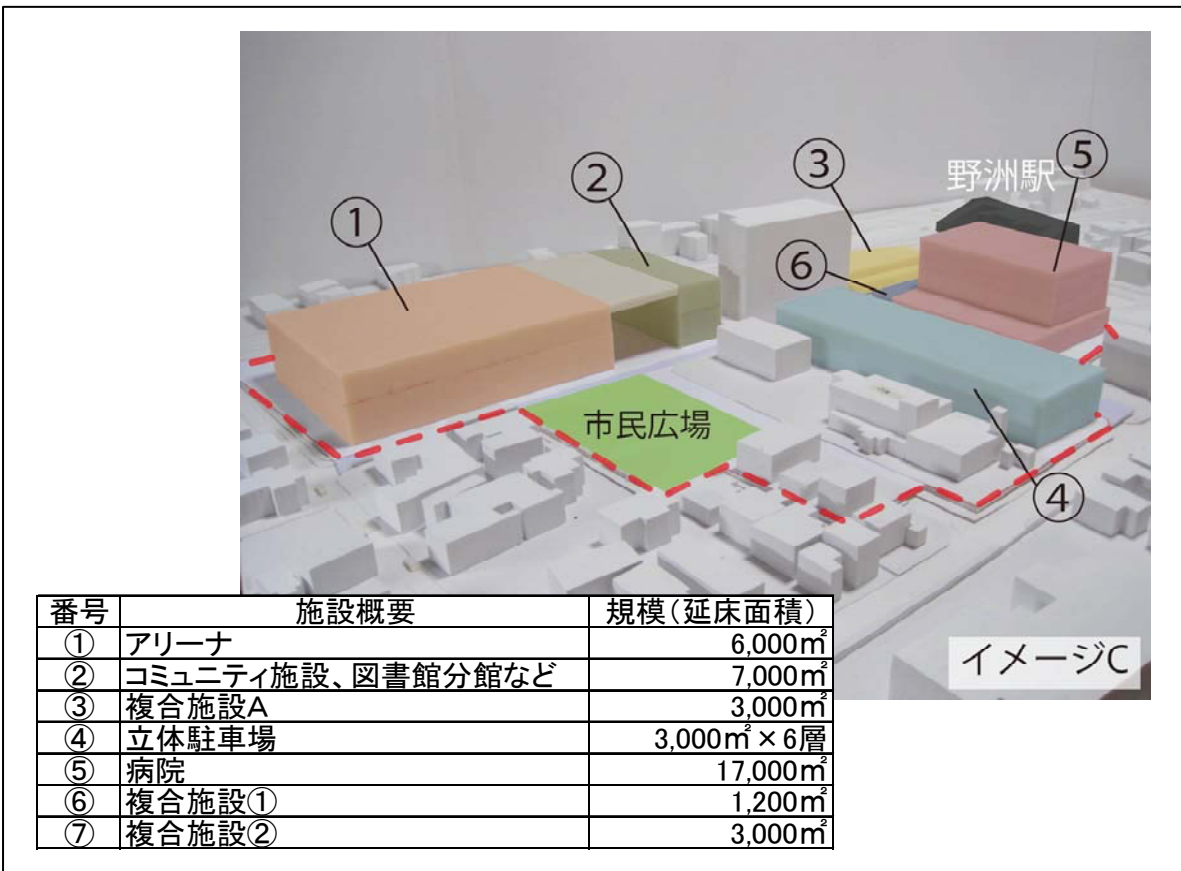
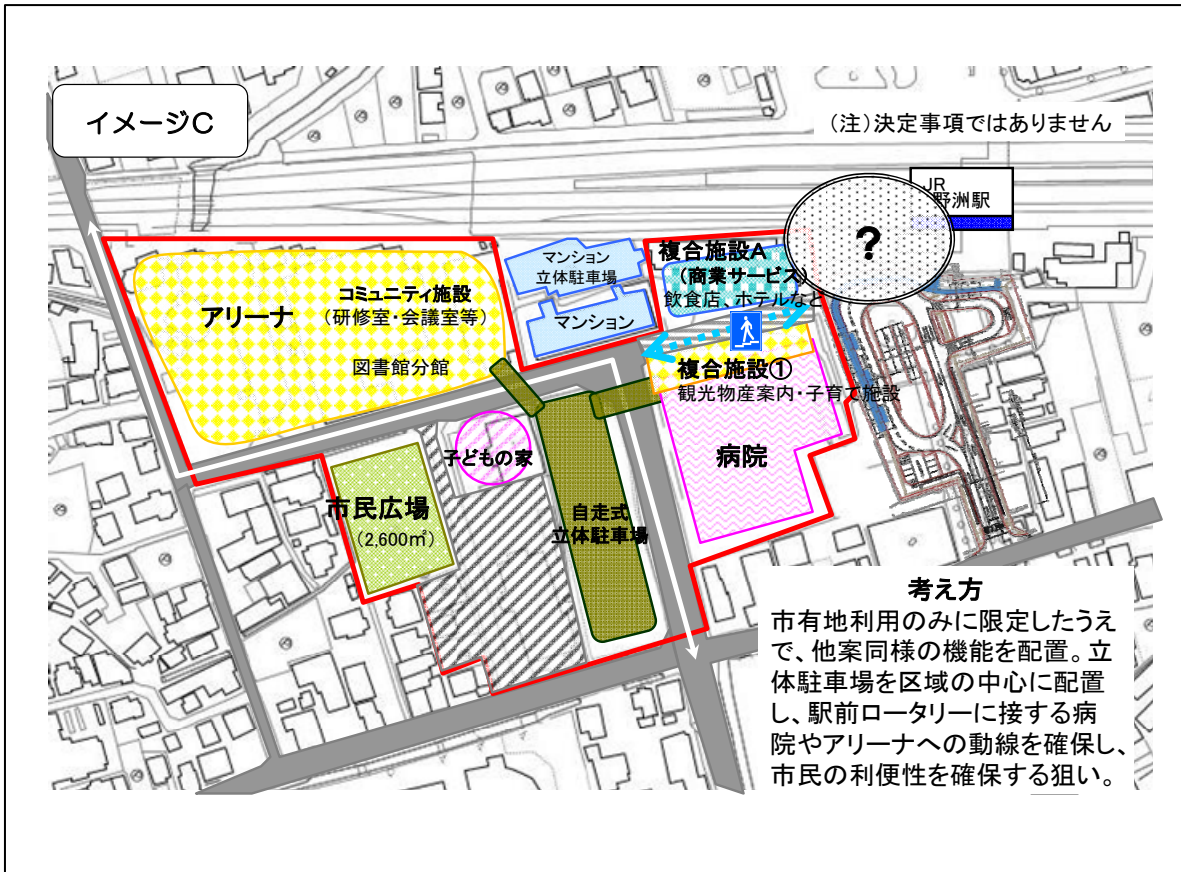
歩道のない危険な踏切

種別	
	2車線+歩道
	2車線
	1車線+歩道
	1車線

機能配置イメージ







○各イメージの概要

(注) 決定事項ではありません

		イメージA	イメージB	イメージC
レイアウトの考え方		駅前から広がる市民広場とそれを囲む機能配置	中心に位置する市民広場と駅前病院の配置	駅前病院と他機能の配置(B案修正版)
施設	市民広場	約6,600㎡ ※道路含まず	約5,200㎡	約2,600㎡
	立体駐車場 (高さ3m/層)	約450台(10層) ※建築面積約1,400㎡ 想定される高さ:27m	約700台(7層) ※建築面積約3,200㎡ 想定される高さ:18m	約600台(6層) ※建築面積約3,000㎡ 想定される高さ:15m
特 徴		商業サービスを駅に最も近いところへ配置		
		アリーナを鉄道線路沿いに配置		
		シンボルとしての市民広場を中央に配置	駅前の利便性を最も活用できる病院配置	
		市民広場を囲むように施設配置	病院と他機能を複合的に配置	
		病院が2方に接道	駅前に大型施設が配置	
		病院と駅前ロータリーが接していない	病院へ駅前ロータリーからの車両侵入が困難	
立体駐車場の接道が一つ	立体駐車場が2方に接道	立体駐車場が全体の中心に位置		
	立体駐車場が病院とのみ接続	立体駐車場が3方に接道		
		立体駐車場と各施設が接続		
共通課題		市所有権利外不動産との調整、既存施設の段階的機能転換や移転、商業サービスの担い手確保、安全・円滑な動線の確保		

共通事項	交流施設	コミュニティ施設(研修室・会議室)、観光物産案内、子育て施設等
		自治会館、こどもの家等
	図書館	図書館分館
	アリーナ	現総合体育館と同規模、観客席:約4,500席
	病院	病床:199床
	商業サービス	飲食店、ホテル等